

| | | | |
|---|---|-----------|-----------|
| 団体名 | 倉敷市立工業高等学校 | 代表者 安藤 正道 | 記載者 牧 顕二郎 |
| 所在地(市区町村名のみ) | 倉敷市 | | |
| 活動目的 | ゼロハンカーの製作を通じて、定時制生徒の自己肯定感を育む。 | | |
| 団体の紹介 | <p>本校は夜間定時制の工業高校である。機械科の生徒が中心となり課題研究や放課後の時間を利用して、50ccのエンジンを使用した車「ゼロハンカー」を製作した。</p> | | |
| 助成を受けての活動内容 | <p>4月 メンバー決め ゼロハンカーの製作にあたって、機械科4年生の生徒全7名と電気科の3名の有志の生徒、計10名で製作をスタートさせた。</p> <p>5月 6月 車体のメインとなるフレームの製作と、エンジンのチューンナップをおこなった。薄肉の丸パイプを使用し軽量化を計った。エンジンは分解整備の後加工することで性能を上げた。</p> <p>7月 フロント部分の製作 前輪やブレーキ、ペダル、ハンドルが必要なフロントの部分を製作した。金属を加工し、1mm単位で位置を調整しながら、溶接をしてとりつけた。</p> <p>8月 リア部分の製作 後輪やエンジンからの駆動部分を製作した。フロント同様加工、溶接し完成させた。</p> <p>9月 フレーム部品の製作 フロントとリアの部品が完成したら、部品をフレームに取り付けるために金属を加工し、接合した。</p> <p>10月・11月 外装の製作・試運転 フレームに合うように、アルミの板を切断、曲げ、をすることで外装を取り付けた。外装をつけたあと試運転をした。</p> <p>12月 試走後、調整をして本番のゼロハンカー大会に出場した。 ・また並行して電気科の先生教員と連携を図り、スマートフォンを利用した速度アプリも製作した。</p> | | |
| 助成を受けての成果 | <p>大会では予選通過とはいかなかったが、生徒は4年間の学校生活の中で、授業や実習で学んだものづくりの基礎を生かし、「ゼロハンカー」を製作することで知識・技能が向上できた。またものづくりの楽しさはもちろん、高校生活の集大成として生徒がとても達成感が感じれたと思う。生徒の中には4年間で一番の思い出になったという者もいた。ゼロハンカー製作の経験が生徒の自信や自己肯定感の醸成に繋がったと感じる。</p> | | |
| 今後の活動の課題点 | <p>製作にあたって、活動場所や資金、加工機械の不足。</p> | | |
| 問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) | <p>〒710-0831 岡山県倉敷市田ノ上716-1 TEL:086-422-4100 FAX:086-422-4106</p> | | |

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

ゼロハンカー 製作風景



倉敷市立工業高等学校